

## 教育委員会広報紙 第3号

～吉永地区の学校教育について～

令和3年12月3日発行  
 富士市教育委員会  
 教育総務課 教育政策担当  
 TEL：0545-55-2865  
 FAX：0545-53-8584

教育委員会の提案についていただいたご質問のうち、学校生活に関係する質問に対し、現段階での支援策や対応についてお伝えします。

### ①合同行事の検討・計画・実施について

現在は新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ですが、落ち着きを取り戻した段階で、子どもたちが積極的な交流活動を実施できるよう支援していきます。

今後は、吉永第一小と原田小の連携や、吉原東中学校と吉原第三中学校が一緒に行事を行うなど、児童生徒同士の交流活動を年間計画に組み込み、積極的に実施する予定です。

### ②教育計画や学習内容について

各学年で履修すべき内容は、国の定める学習指導要領で決められているうえ、市内の全学校で同じ教科書を採択しているため、全ての教科において、学習進度や学習内容について学校間の違いはありません。

また、学習方法や学校生活においても、小中一貫教育の視点から、4校合同研修等において教育計画や学習指導方法を共有しています。学校生活上のルール等についても、編入後に生徒が戸惑うことのないように、両校で事前に調整します。



### ③学用品について

制服や体操服などの学用品は、兄弟姉妹で着回しすることも考え、編入してから卒業までは、現在使用しているものをそのまま使用できるようにしていきます。原則として、編入することを理由に新たに学用品を購入する必要はありません。

### ④編入後の不安や心配事を抱える生徒に対する人的支援の整備について

吉原第三中学校での学校生活が始まることで、新しい環境への不安や心配事を抱える生徒が出てくることが考えられます。こうした生徒の心的サポートについては、担任などと実施する教育相談に加え、養護教諭との教育相談やスクールカウンセラー(SC)との個人面談など、生徒や保護者が気軽に相談できるよう、相談体制を充実させていきます。また、編入先となる吉原第三中学校には、教育委員会として各種サポート員を増員したり、SCの勤務日を増やしたりすることを予定しています。

さらに、吉原東中学校から吉原第三中学校へ、計画的な教職員の人事異動を行い、生徒の不安に寄り添えるよう努めます。

### ⑤吉原第三中学校の施設の整備について

吉原東中学校の編入に伴い、吉原第三中学校では教室整備等の工事が必要となります。工事は前年度の夏休みを中心に準備を進めていきます。その他必要な施設整備は、計画的に進めていきます。

### ⑥保護者及び児童生徒への説明について

編入時期決定後、編入1年前の新学期スタートまでに、中学校の入学説明会や保護者総会等を開催して、編入計画について説明をいたします。また、児童生徒にも、学校と協力して、教育委員会が説明する機会を設ける予定です。

### ⑦安全な通学路の確保について

通学区が広がることを考慮し、学校から自宅まで安心して帰ることができるよう、下校時刻の見直しを図ります。また、交通量が多い道路については通学路として利用しないことを生徒に指導するとともに、交通量の多い道路を横断する箇所につきましては、安全対策について、関係機関と連携していきます。

### ⑧通学方法について

学区の南東に位置する町内(主に富士岡花守地区)については、通学時間が長くなることを踏まえ、事前登録制による自転車通学許可学区にすることを検討しています。ただし、根方街道の交通量が多いことや吉原三中学校からの坂道が急こう配なことを踏まえ、自転車での通学は、吉原東中学校周辺に、新たに設ける専用駐輪場までとし、吉原東中学校から吉原三中学校までは徒歩通学とすることを検討しています。

### ⑨部活動について

吉原東中学校と吉原三中学校の両方にある部活動については、編入までは合同チームとして活動し、編入後のスムーズなチーム編成を検討します。また、どちらか片方にしかない部活動についても、現在その部活動に在籍している生徒については、中学3年時の活動終了時まで活動できるようにします。その後の部活動の種類や数等については、富士市の部活動ガイドラインに沿って活動します。



### ⑩跡地の利用について

跡地利用については、市が一方的に決めるのではなく、吉永地区のまちづくり協議会や、地域の要望を踏まえ、地域活性化の一助となるような活用方法を検討していきます。また、その際には、体育館が避難所として指定されていることも考慮していきます。

ただし、編入してから使用方法を検討していくと、利用開始までの期間が長くなり、施設の老朽化が進んでしまうため、編入に関する検討と並行して、跡地利用について検討を進めていきたいと考えております。



※今後も進捗状況につきましては、随時富士市ウェブサイトに掲載していきます。